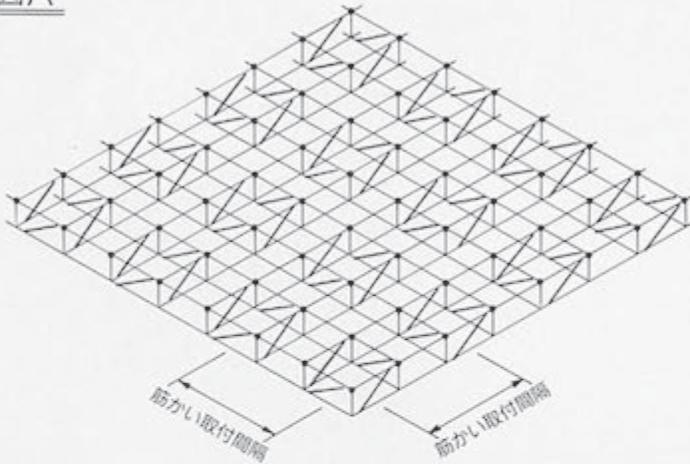


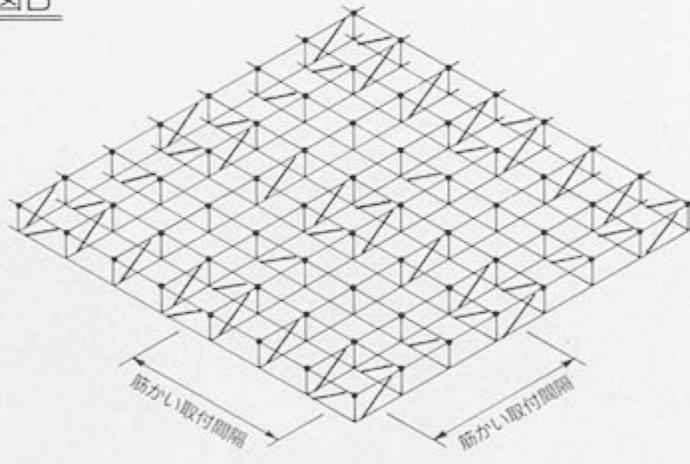
使用基準

ベタ支柱式型わく支保工

図A



図B



積載荷重は支柱1本当たり、以下の許容荷重の値以下とする。

支柱間隔(mm)	許容荷重(t/1柱)	
1829	6.0	4.8
1524		4.2
1219	4.5	4.2
914		
610	1スパン おき	2スパン おき
筋かい 取付間隔		
	図A	図B

また、次式により1構面にかかる荷重に応じ、筋かい取付数を求めることができる。但し、支柱1本にかかる荷重は筋かい取付間隔1スパンおきの許容荷重の値以下とする。

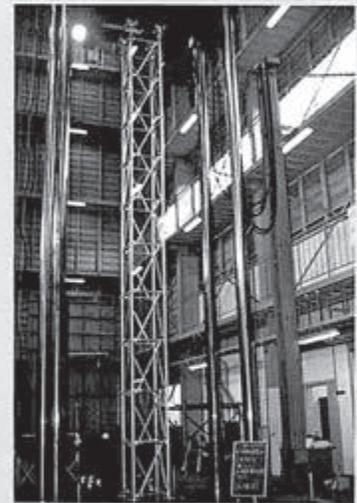
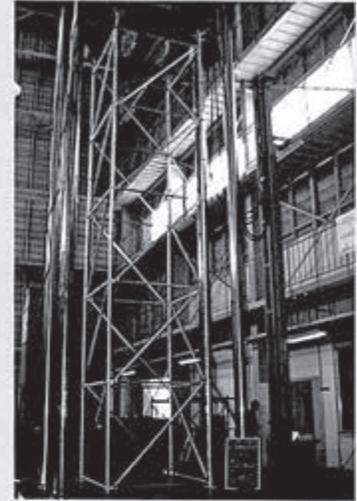
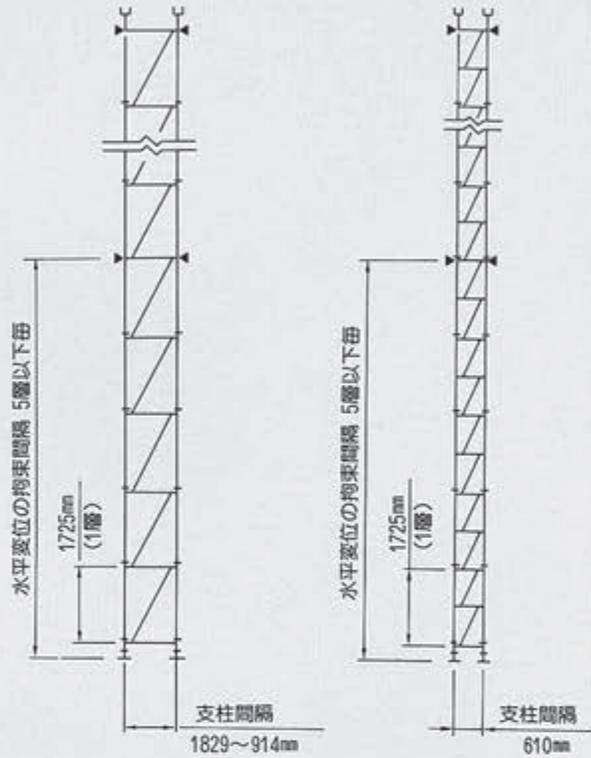
$$n \geq \frac{PH}{pHa} \quad (n \text{ は整数})$$

n : 1構面1層あたりの筋かい取付数 (支柱間隔610mmの場合×2)
 pHa : 筋かい許容水平抵抗力
 PH : 1構面に働く水平荷重
 PV : 1構面にかかる鉛直荷重

$$PH = PV \times 5\%$$

支柱間隔 (mm)	筋かい許容 水平抵抗力(t)
1829	0.72
1524	0.63
1219	
914	0.68
610	

四角塔式型わく支保工

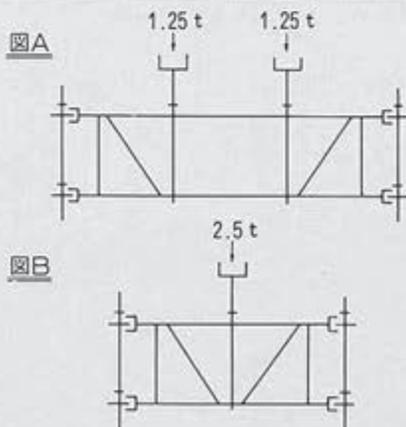


積載荷重は支柱1本当たり、以下の許容荷重の値以下とする。

5層以下毎に水平変位を拘束

支柱間隔 (mm)	1829	1524	1219	914	610
許容荷重(t/1柱)	6.4		5.7		6.3

荷重受梁を併用する型わく支保工

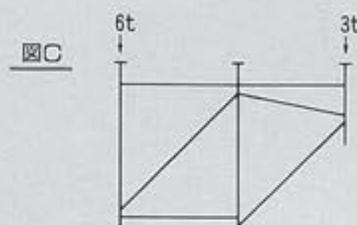
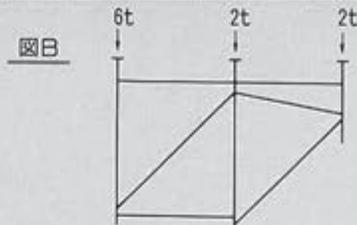
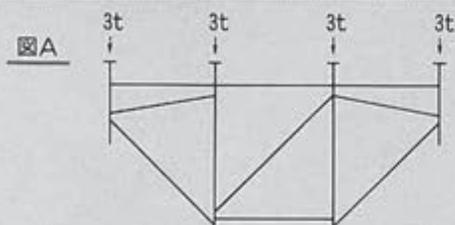


積載荷重は荷重受梁1枠当たり、以下の許容荷重の値以下とする。但し、荷重受梁が取り付けられる支柱に作用する荷重は、支柱の許容荷重の値以下とする。

規格	許容荷重(t/1枠)	
OKSW-18	2.5	☒A
OKSW-15		
OKSW-12	2.5	☒B
OKSW-9		

使用基準

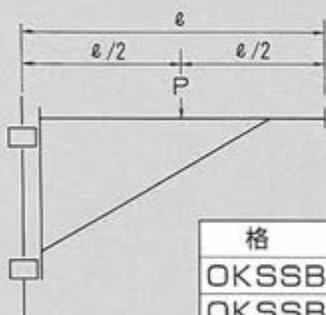
荷重受枠を併用する型わく支保工



積載荷重は荷重受枠1枠当たり、以下の許容荷重の値以下とする。但し、荷重受枠が取り付けられる支柱に作用する荷重は、支柱の許容荷重の値以下とする。

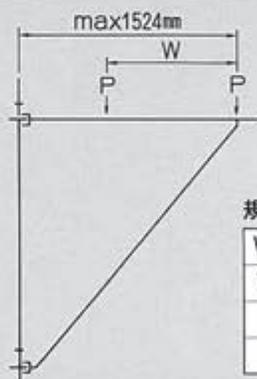
規 格	許容荷重(t/1枠)	
OKST-1708-6	12	図A
OKST-1108-6	10	図B
	9	図C

伸縮ブラケット



格 格	許容荷重P (kg)
OKSSB-810	200
OKSSB-68	
OKSSB-46	

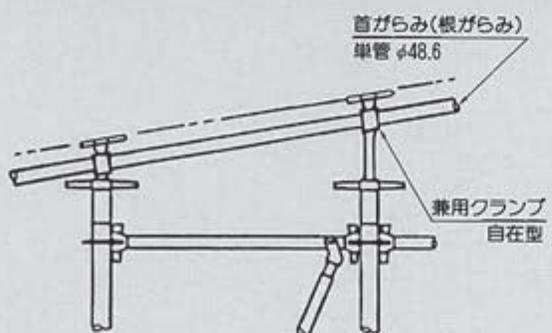
跳ね出しステージ



規格 OKSHS-15

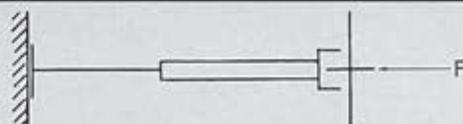
W(mm)	許容荷重P (kg)
1219	500
914	350
610	350

自在ジャッキベース



規 格	許容荷重(t)
OKSFJ-30T	6.0

壁当てジャッキ



規 格	許容荷重P(t)
OKSKJ-6040	2.0
OKSKJ-4030	

OKクランプ

規 格	許容荷重(kg)
OKSNC-1(自在)	600
OKSNC-2(直交)	900